

写真：青柳茂



金田一春彦 (1913-2004)

直筆原稿



国語辞典の編纂者として有名な金田一春彦先生と全国の方言採集に尽力した平山輝男先生。今は亡き二人の国語学者が残した貴重な研究資料がデジタルアーカイブ資料となって甦りました。

第一部 記念シンポジウム

第二部 見学 (金田一春彦記念図書館にて)

金田一春彦記念図書館デジタルアーカイブ

本公開記念シンポジウム

2017年

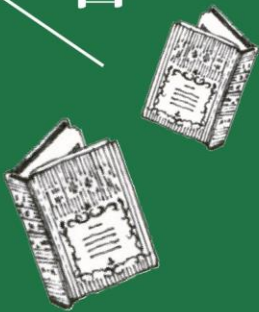
10月8日(日)

午後1時30分～

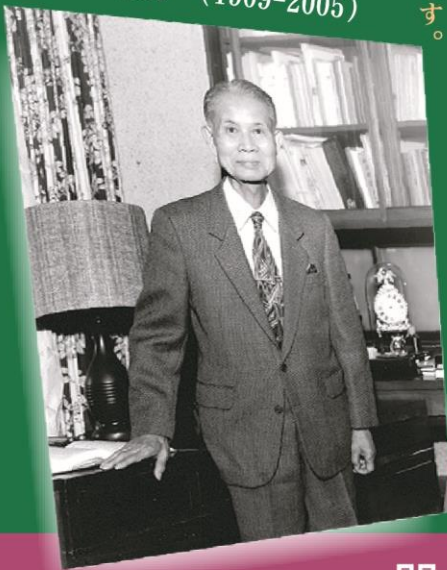
会場：大泉総合会館 2階 大ホール

定員：150名 (要申込・入場無料)

方言



平山輝男 (1909-2005)



金田一先生と平山先生にゆかりのある言語学者等が集い、両先生のお人柄やエピソードを語るとともに、アーカイブ資料の解説や今後の展望について語ります。

問合せ先：金田一春彦記念図書館

TEL 0551-38-1211 FAX 0551-38-1126

共催：北杜市教育委員会・公益財団法人 図書館振興財団
協力：NPO法人地域資料デジタル化研究会・TRC-ADEAC株式会社
後援：NHK甲府放送局

※本事業は、公益財団法人図書館振興財団平成27年度提案型助成を受けて実施しています



金田一春彦記念図書館アーカイブデジタル化公開事業

金田一春彦記念図書館デジタルアーカイブ 本公開記念シンポジウム

第一部 記念シンポジウム 13:30~15:35

■事業報告

1. 「金田一春彦記念図書館アーカイブデジタル化事業について」
北杜市中央図書館 館長 坂本あけみ
2. 「デジタル化・公開の実際：ADEACの利用法」
公益財団法人 図書館振興財団理事・筑波大学名誉教授 石川徹也

■講演

「金田一春彦記念図書館アーカイブデジタル化事業が
方言学に与える影響について」

講師：東京大学名誉教授 上野善道

■シンポジウム

「金田一春彦記念図書館アーカイブデジタル化事業の意義について」

進行：田中美奈子（フリーライター・春彦先生長女）

パネリスト：上野 善道（東京大学名誉教授）

日高貢一郎（大分大学名誉教授）

久野マリ子（國學院大學教授）

小林 是綱（NPO法人地域資料デジタル化研究会会長）

金田一春彦 -KINDAICHI HARUHIKO- (1913-2004)

言語学者金田一京助の長男として東京に生まれる。方言の歴史の変遷の研究において大きな業績を残す。また、国語辞典の編纂者としてもよく知られている。北杜市大泉町（旧大泉村）に愛着を持ち、およそ2万点の蔵書を図書館に寄贈。

平山輝男 -HIRAYAMA TERUO- (1909-2005)

國學院大學文学部国文学科、同大学院にて金田一京助等のもとで方言学を学ぶ。学生時代から全国400カ所以上に及ぶ実施調査を行い、方言のアクセントの分布等を明らかにした。金田一春彦記念図書館に7千点余りの蔵書を寄贈。

2017年10月8日（日）
大泉総合会館 2階 大ホール
定員：150名（要申込・入場無料）

■出演者プロフィール



上野 善道 -UWANO ZENDO-
1946年岩手県生まれ。1965年東京大学入学、1973年同大学院言語学専門課程博士課程中退。同年東京大学助手。弘前大学講師、金沢大学助教授を経て1981年東京大学文学部助教授、1994年同教授。2010年定年退職。2010年～2015年国立国語研究所客員教授。専門は日本語諸方言アクセントの研究。日本語学会会長、日本音声学会会長、日本語学会会長を歴任。



日高 貢一郎 -HIDAKA KOICHIRO-
1948年宮崎県生まれ。東京外国語大学で金田一春彦先生に国語学を、東京都立大学大学院で平山輝男先生に方言学を学ぶ。NHK放送文化研究所・放送用語研究所を経て、1980年大分大学に専任講師として着任。助教授・教授を経て2013年定年退職。現在、國學院大學文学部兼任講師。



久野 マリ子 -KUNO MARIKO-
兵庫県出身。東京都立大学大学院、同大助手。國學院大學日本文化研究所助教授・教授を経て、國學院大學文学部教授。サンパウロ大学日本文化研究所客員教授。専門は方言学、音声学、国語学。フィールドワークを主とする方言研究。第16回沖縄文化協会金城朝永賞受賞。吉川博士記念賞受賞。



小林 是綱 -KOBAYASHI ZEKO-
1969年山梨県立図書館司書を経て、1998年金田一春彦記念図書館初代館長を務める。2009年岩手県立図書館指定管理者総括責任者。2011年NPO法人地域資料デジタル化研究会を立ち上げ、理事長を務める。現在、「山梨ことばの会」顧問。方言関係の論文の他、『甲州弁カルタ』（朝木の村）、DVD『奈良田のことば』監修等。



田中 美奈子 -TANAKA MINAKO-
金田一春彦の長女。立教大学文学部卒業。大学時代から父春彦に文章の書き方の手ほどきを受け、父の仕事を手伝う。結婚後ライターへの道へ進み、ゴルフ雑誌のライターを務めるかたわら、1994年には「オーガスタの妻たち」でカネボウユーマンドキュメント入賞。日本ペンクラブ会員。



第二部 見学 16:00~17:00

（場所：金田一春彦記念図書館）

※シンポジウムの会場から徒歩3分です

- 金田一春彦ことばの資料館にてアーカイブ資料の見学
- NPO法人地域資料デジタル化研究会が音声資料のデジタル化に使用した機器などの展示
- デジタルアーカイブ資料を公開しているサイト『ADEAC』のデモ

デジタルアーカイブ資料を Webで公開中！

直筆原稿や方言採集テープ音声などを見たり聞いたりすることができます。是非ご覧ください。



『ADEAC』
<http://trc-adeac.trc.co.jp>



ことばの資料館へと続く方言コーナー



●大泉総合会館

〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出3164-1

●金田一春彦記念図書館

〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸3000

◆J.R.G.利用の場合

◎小淵沢駅から

- ・北杜市民バス北部巡回線 9:24 発
- 大泉総合支所バス下車 徒歩5分
- ・タクシー利用で約15分

◎長坂駅から

- ・北杜市民バス北部巡回線 13:10 発
- 大泉総合支所バス下車 徒歩5分
- ・タクシー利用で約10分

◆自動車の場合

中央自動車道の長坂I.C.を降り、信号を左折。次の信号(長坂I.C.東)を左折し、3.5km直進。突き当りを左折すると、700m先左側に位置する図書館が目印。